

発行人 / 学園町自治会会長・荻野晶子
企画編集 / 学園町自治会広報委員会
編集長 / 浜名 純
投稿・連絡先 / 学園町1丁目14番地31号
電話 / 090-6005-7887

学園町 かわら版

購読無料・各戸配布 / 隔月刊行

118号



学園町HPは
こちらのQR
コードから



ピッカピカの一年生 学園町から18人が小学校へ マジックショーでお祝いの会

今年4月に学園町から小学校に入学する新一年生をお祝いする「新一年生の集い」(学園町自治会主催)が、3月29日(日)、自由学園しのめ茶寮で開かれました。今年の学園町(自治会加入家庭)の新一年生は18人。昨年と一昨年は8人だったのに比べ2倍以上となりました。その理由は不明ですが、少子化が進む中、新入生が増えることは大きな喜びです。

例年は、新入生に色鉛筆をプレゼントしていましたが、今回は趣向を凝らして新一年生とその保護者が一堂に会してお祝いをするセレモニーを実施。新一年生12人をはじめお母さん、お父さんら計35名が参加しました。

西東京マジッククラブによるマジックショーで開幕。西東京マジッククラブは、アマチュアの同好会で老人施設や公民館、保育園、お祭りなどで活動しています。この日は渡邊耕造さんと五十嵐洋一さんが出演し、五十嵐さんが何も入っていない袋からいろいろの物を取り出し、渡邊さんが1000円札を空中に浮かすマジックを披露。子どもたちは歓声を上げながら、袋の中を覗いたり手を突っ込んだりしながら大いに盛り上がりました。

次いで、新入生一人ひとりが自己紹介し、荻野晶子自治会長と自治会運営委員の半澤佐和子さんから72色の色鉛筆のケースがプレゼントされました。プレゼントには昨年同様「あたらしいおもだちといっしょに あそんだり おべんきょうをしたり たのしいまいにちを おくってね」という言葉が添えられていました。

最後に荻野会長が「学園町から第五小学校へ通じる通学路がこれから一年間工事のため片側通行になってしまいます。くれぐれも気をつけて登下校してください。そして、学園町の新一年生みんなが仲良くなってくれることを願っています」と述べました。



自由学園での熱気球体験



3月25日(水)、自由学園のグラウンドで、地面にロープで係留された「熱気球」を上げ、小学生の子供たちに乗ってもらおうというイベントが開催されました。主催は佐賀市。自由学園には企画運営を担ったGrassFamily、社から、インタープログラム「飛び級社会人」で繋がったご縁で企画の打診があり、実現に至りました。

当初計画では、高さ20mまで上昇し学園町の町並みを見てもらう予定でした。しかし、天候面で安全基準を満たさない恐れがあったため、ゴンドラを地面から離さない範囲で気球を膨らませ、子供たちを乗せず周りから見てもらう形に変更されました。

それでも子供たちにとって、また付き添った大人たちにとっても、素晴らしい経験になりました。前半はグラウンドに立ち上がった本物の熱気球の見学。直接目にする気球の大きいこと！高さ20mで虹色に輝いています。時おり熱く軽い空気を補給するため、ブォーツと音を立ててガスバーナーが火を上げます。それをバックに子供たちの記念写真を撮りました。

後半は、記念体育館に場所を移して、実際に球皮(風船部分)を触ってみる体験です。中止になった搭乗体験に替わって用意されました。体育館に入ると、細長く畳まれた合繊製の球皮が横たわっています。少し古くなっていますが、現役です。それを子供たちが広げ、根元の穴から送風機で風を吹き込むと、グングン膨らんでいきました。飛ばす時には高さ18m、直径23mになる気球ですから、半分膨らませただけで、体育館一杯になる感じです。そこで、お待ちかねの球皮「内」体験。子供たちも大人たちも、全員を気球の中に入れてくれました。子供たちは大はしゃぎ、大人たちは写真を撮るカシャカシャ撮っていました。

途中、記念講堂に立ち寄り、みんなが佐賀市作成のPR動画を見ました。坂井英隆佐賀市長も来ておられ、毎年秋に国際バルーンフェスタが開催されること、市内の全小学生が卒業までに気球を体験する計画を進めていること、それが空を見上げて心がほだけるきっかけになれば嬉しいこと、そうした気持ちを持ってPRしたいという思いから東京都での第一号案件として企画したことを説明されました。

また、自由学園の更科学園長から「今の時代、子供たちは画面を通して世界を知ることが多くなったが、それは本物ではない。空を見上げ、風や高さを実感する時、驚きが生まれる」とのお話がありました。今回のイベントは、子供にとっても大人になっても、忘れられない思い出になったと思います。

(岡田正意)

地域住民と関係機関の「つなぎ役」 児童の登下校の見守りやごみ拾いにも尽力 民生委員の小山三千生さんに聞きました



民生委員が日ごろどんな活動をしているか知っていますか？ その名称は知っていても具体的な活動内容を知らない人が多いのではないのでしょうか。長年にわたって民生委員を務めている2丁目の小山三千生さんにインタビューしました。小山さんは仲間と、毎月2回地域の防犯パトロールとまちのごみ拾いも実践しているのをはじめ、ボランティアとして毎朝、登校の児童の見守りも行っています。また、1丁目の民生委員、半澤佐和子さんにコメントをいただきました。

—— 民生委員制度が発足して109年、民生委員という名称については誰でも知っています。でも、その活動実態を知っている人は少ないのではないのでしょうか。困っている人に手を差し伸べる活動をしているという漠然としたイメージです。実際はどんなことをしているのでしょうか。

小山 一言でいえば、地域住民の方々の身近な「相談役」、「つなぎ役」です。子どもから高齢者、障がいのある方々に寄り添いながら、市役所や地域包括支援センター（包括）や社会福祉協議会（社協）など関係機関につなぐ役割のボランティア活動をしています。

正式には「民生委員児童委員」と言います。民生委員は、それぞれの地域でひとり暮らしや寝たきりの高齢者などの援助活動をはじめ、地域福祉に関する相談に応じ、児童委員は児童や乳幼児、妊産婦などの相談や援助を行っています。でも、民生委員と児童委員は同じ人がやっています。児童福祉法で民生委員が児童委員を兼ねるように規定されているのです。このほかに児童に関する相談・支援を行う主任児童委員という人もいます。

—— 民生委員は厚生労働大臣から委嘱された非常勤地方公務員です。

—— ありがとうございます。理解が深まりました。住民の皆さんに、こういったことをより一層分かってもらいたいですね。



—— ありがとうございます。理解が深まりました。住民の皆さんに、こういったことをより一層分かってもらいたいですね。

小山 はい。皆さんに私たちの役割と活動をより理解してもらおうと、東久留米市民生委員児童委員協議会（民児協）が活動誌を発行して52年になりますが、このほど新たにビジュアルリーフレット「ゆうすい」を作成し、昨年東久留米市の公立小学校の6年生と中学3年生の全員に配布しました。4月からの新年度には公立小・中学校の全学年に配布する予定です。子供さんが家に帰り保護者にも見てもらうことで、こんなことをやっているんだ、と分かってくればいいなと思っています。パフレットは、東久留米市民児協が発行元となり、私が編集委員長を務めました。イラストや写真を豊富に使い、分かりやすいものを目指しました。

—— 民生委員児童委員（以下民生委員）の任期は3年で、3年ごとに全国一斉に12月に改選されます。昨年12月にその改選がありましたが、全国の民生委員の欠員数は2万1159人に達し、制度開始以来初めて2万人の万台を超え、欠員率も過去最高の8.3%となりました。東久留米市や学園町における現状はどうでしょうか。

小山 東久留米市では民生委員の定数74名に対し31名が欠員となっているのが実情です（2026年2月1日現在）。欠員率は42%という高さです。これは東京都内でワースト1の欠員率になっています。

ところで、東久留米市民児協は東部地区・中部地区・西部地区に分かれています。中部地区と西部地区の欠員率が高く、中部地区では、「学園町1、2丁目/南沢1、2、3、4、5丁目/ひばりが丘団地1・2」地域は定数9名に対し現員3名（欠員6名）で、その3人が欠員地区を兼務しています。東久留米市が高い欠員率となっているのは、自治会・町内会との連携が薄いことが一因で、充足率の高い地域は改選時に自治会からの推薦で出るといったケースが多いようです。ある民生委員が高齢で引退しても、後を継ぐ人が自治会等から出るというように繋がっています。東京都民児連では今期から市区町村判断で定年年齢引き上げ（75歳→78歳）を行い、東久留米市民児協も導入し4名の応募があったものの高い欠員率は改善されていません。民児協自体の運営も大正・昭和・平成・令和と時代

が変わる中で「働きながら」「育児しながら」「介護しながら」といった「ながら」の方も参加しやすい活動内容に改善する必要がありますとの意見もあります。

—— 学園町や南沢で定期的にごみ拾いも行っていると聞きしました。そのきっかけや具体的な行動の様子はどのようなものですか。

小山 防犯活動の一環として、民生委員が中心となって「防犯パトロール隊」を組織し、地域の巡回をスタートさせました。その際、ただ巡回するだけでなく、ごみを拾いながら行うということになったのです。学園町/南沢地区では「南学パトロール隊」と称して10数人が参加。40リットルのゴミ袋と5リットルのタバコ用のごみ袋を持って回りますが、なんと2年間で40リットルの袋だけで100袋（4キロリットル）にもなりました。ボランティア袋で個人活動をしている仲間もいます。ちなみに東久留米市民児協は防犯パトロール隊を中心に2022年に田無警察署と田無地区防犯協会連合会から感謝状をいただいています。

—— 小山さんは、毎朝、児童の登校の見守りをしています。それについてもお聞かせください。

小山 これは個人のボランティアとして2丁目の町田米店の前の横断歩道でやっています。児童が私の顔を覚えてくれて、たまたま他の場所でお母さんと歩いている



令和4年防犯功労者等表彰式
田無警察署・田無地区防犯協会連合会・田無母の会

が変わる中で「働きながら」「育児しながら」「介護しながら」といった「ながら」の方も参加しやすい活動内容に改善する必要がありますとの意見もあります。

—— 学園町や南沢で定期的にごみ拾いも行っていると聞きしました。そのきっかけや具体的な行動の様子はどのようなものですか。

小山 防犯活動の一環として、民生委員が中心となって「防犯パトロール隊」を組織し、地域の巡回をスタートさせました。その際、ただ巡回するだけでなく、ごみを拾いながら行うということになったのです。学園町/南沢地区では「南学パトロール隊」と称して10数人が参加。40リットルのゴミ袋と5リットルのタバコ用のごみ袋を持って回りますが、なんと2年間で40リットルの袋だけで100袋（4キロリットル）にもなりました。ボランティア袋で個人活動をしている仲間もいます。ちなみに東久留米市民児協は防犯パトロール隊を中心に2022年に田無警察署と田無地区防犯協会連合会から感謝状をいただいています。

—— 小山さんは、毎朝、児童の登校の見守りをしています。それについてもお聞かせください。

小山 これは個人のボランティアとして2丁目の町田米店の前の横断歩道でやっています。児童が私の顔を覚えてくれて、たまたま他の場所でお母さんと歩いている

が変わる中で「働きながら」「育児しながら」「介護しながら」といった「ながら」の方も参加しやすい活動内容に改善する必要がありますとの意見もあります。

—— 学園町や南沢で定期的にごみ拾いも行っていると聞きしました。そのきっかけや具体的な行動の様子はどのようなものですか。

小山 防犯活動の一環として、民生委員が中心となって「防犯パトロール隊」を組織し、地域の巡回をスタートさせました。その際、ただ巡回するだけでなく、ごみを拾いながら行うということになったのです。学園町/南沢地区では「南学パトロール隊」と称して10数人が参加。40リットルのゴミ袋と5リットルのタバコ用のごみ袋を持って回りますが、なんと2年間で40リットルの袋だけで100袋（4キロリットル）にもなりました。ボランティア袋で個人活動をしている仲間もいます。ちなみに東久留米市民児協は防犯パトロール隊を中心に2022年に田無警察署と田無地区防犯協会連合会から感謝状をいただいています。

—— 小山さんは、毎朝、児童の登校の見守りをしています。それについてもお聞かせください。

小山 これは個人のボランティアとして2丁目の町田米店の前の横断歩道でやっています。児童が私の顔を覚えてくれて、たまたま他の場所でお母さんと歩いている



時に私とぼったり会うつ、「あつ、信号のおじちゃんだ」と言ってくれて、お母さんと挨拶することになります。そういうことで保護者の方との繋がりができ、防犯やパトロールにもプラスになっていることを実感しています。

——これまでの活動を振り返って、民生委員の目から見た学園町の変遷についてお聞かせください。また、将来への期待や要望などについてもお願いします。

小山 ある方から数年間欠員になっていた学園町2丁目の民生委員を打診され引き受けて昨年で8年が経過しました。最初の頃は古くから住んでいる方がたくさんおり、その方々とのお付き合いがスムーズにいき民生委員としての活



動もやりやすかったのですが、世代交代と共にお付き合いが希薄になってきたと感じています。さらに、昨今の個人情報保護の広がりにより、活動が困難になったという面もあります。また、民生委員の欠員が多い中で、災害発生時に民生委員が対応できることには限度があります。地域社会の原点である近所付き合いや自治会の防災組織を強固にしてほしいと思います。欠員の補充や、3年後に定年を迎える私の後任問題解決を含め、自治会の皆様との連携を深めていければいいと願っています。

★半澤佐和子さんコメント

民生委員になろうと思ったきっかけは、かわら版でした。当時のかわら版で「学園町の民生委員が不在で困っている」ことを知りました。学園町に憧れ引越してきた自分としては「もうやるしかない！」と在住3年以上の条件をクリアした翌月に手を挙げました。小山さんの積極的な活動とはほぼ正反対、のんびり活動しています。

地域と共に未来を担う子どもたちを育てたい

第五小学校 副校長 新野 妙子

4月6日には春の光に包まれ、校庭には子どもたちの元気な声が戻ってまいりました。今年度、本校は新たに127名の一年生を迎え、全校児童780名で新しい一歩を踏み出しました。本校は今年開校から62年目を迎えます。これまで長きにわたり、地域の皆様を支えられて多くの卒業生を送り出してきた歴史の重みを、改めて感じているところです。

現在、東久留米市内の全小中学校では、「未来☆くるめ学習」と題した新しい学びに取り組んでいます。これは、子どもたちが地域の歴史や環境、そしてそこに暮らす人々の魅力に触れ、地域の良さを再発見し、自分たちにできることを実践していく学習です。

昨年度も、子どもたちは地域に飛び出し、多くの学びを得ました。例えば、給食でいただく地場野菜について調べ、実際に農家の畑を見学させていただきました。地域探検では、公共施設や個人商店などでインタビューを行い、発表する活動も行いました。また、東久留米の特産品をどのようにアピールすれば街が活性化するか、自分たちの立場で考え、発信した学年もありました。

こうした学習を通して、子どもたちは「東久留米市がもつと好き

コミュニティ・スクールとして新たなスタート

南中学校 校長 矢崎慶

地域にお住いの皆様、市内の様々な事業所、学校関係者の皆様には、日頃より南中学校の生徒を温かく見守っていただきありがとうございます。特に昨年度末(12月)に起きた不審者騒ぎにおいては、学園町自治会の皆様が、生徒の下校時に見回りを実施してくださいました。この紙面を借りて、御礼申し上げます。

令和8年度、南中学校は東久留米市内小中学校の先陣を切って、コミュニティ・スクールとしてスタートします。コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置している学校のことです。学校運営協議会とは、様々な協議会委員(地域代表者、保護者、学識経験者等)で構成された組織です。学校運営に積極的に参画、方針等に意見、承認、協力していただく

ら、地域の皆様と共に、未来を担う子どもたちを育てていければ幸いです。引き続き、本校への変わりぬぐ支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

★五小の新校長が発表されました。豊島区教育委員会統括指導主事の菱田行記氏です。次号(6月号)で菱田新校長のインタビューを掲載予定です。

ことを目的としています。具体的には本校の多くの生徒が様々な形で参加させていただいている青少年健全育成協議会の行事、2年生で実施している職場体験活動など地域連携の取り組みとして、地域学校協同活動の充実させることも目的の一つです。南中の最大の教育資源は「地域の力」です。校長として、とても感謝しています。

令和8年度の学校経営の基本姿勢は「生徒一人一人が自らの人生を切り拓く力を育てる」不易流行「」です。この方向性を大切に教育活動を展開していきますので、今年度もご理解ご協力をお願いいたします。

★荻野晶子自治会長が、このほど東久留米市教育委員会から南中の運営協議会委員(通称CS)に委嘱されました。



アニメ「てっぺんのおへや」は、たった、とつて、とつとの仲良し3人組がかいじゅうの館を訪れ、そこで出会ったかいじゅうたちとの触れ合いを通じたファンタジックストーリーで、東京ビッツグラフィックとインドのGFFIとESFPA

アニメーター、イラストレーターとしてずっと仕事をしてきました。「ひらけポンキッキ」「銀河鉄道の夜」「ふるさと再生日本の昔話」「海の民話」初めての名作絵本「オズのまほうつかい」「はくちようのみずうみ」などにも携わってきました。

「てっぺん展」に遊びに来てね
4月12日～16日まで
湯川 信子

昨年5月に私が雑司ヶ谷で「てっぺん展」をひらいたときにも来てくださり、「今度ハマナホームでもやりましょうよ」と声をかけてもらいました。そしてついに4月12日から17日までの6日間、てっぺん展を開くことになりました。気軽にのぞきにきてください

その作品展を今回ハマナホームで開くことになりました。実は私ふたりの息子が小さい頃に学園町に住んでいて、つぐちゃんこと浜名紹代さんが1987年に家庭保育室を開いたときに一期生としてお世話になったのです。

で受賞しました。その作品展を今回ハマナホームで開くことになりました。実は私ふたりの息子が小さい頃に学園町に住んでいて、つぐちゃんこと浜名紹代さんが1987年に家庭保育室を開いたときに一期生としてお世話になったのです。

2月15日には、小中学生6名を含む15人が参加、香川県から取り寄せたうどん粉をこねて、しっかりと足で踏んで、麺棒で延ばして、カットして、茹でて……という作業を体験しました。皆、初めてとあって興味津々、太すぎたり、短すぎたりと試行錯誤しながら自分たち手製のうどんを作り上げ、自宅に持ち帰りました。

2月15日と3月31日、手打ちうどんの体験会が、ハマナホーム(一丁目)で開かれました。指導は長畑泰三さん(二丁目在住)。長畑さんは若い頃、本場の香川県讃岐でうどん打ちを学び、いろいろな催しやイベントにうどんを提供したり、教えたりしていました。

2月15日と3月31日、手打ちうどんの体験会が、ハマナホーム(一丁目)で開かれました。指導は長畑泰三さん(二丁目在住)。長畑さんは若い頃、本場の香川県讃岐でうどん打ちを学び、いろいろな催しやイベントにうどんを提供したり、教えたりしていました。



手打ちうどん体験会開催

お知らせ

【南部地域センター】
※各イベント問い合わせは南部地域センター(指定管理者(株)セイウン) ☎042-451-2021 Mail higashikurume_nambu@s-seiun.jp
★「シニアヨーガ」
ヨーガを始めるのに年齢や性別は関係ありません。
・4月10日・24日・5月8日・22日
1部 10:00～11:00
2部 11:30～12:30
・参加費：700円(当日払い)
・対象：65歳以上男性も大歓迎！
・持ち物：ヨガマット・水分補給動きやすい服装・厚手のバスタオル・汗拭きタオル
・講師：ヨガイストラクター AZUSA
★「南部野菜市」
無農薬の新鮮な野菜・果物を地域の皆様に提供販売します。
・4月14日・21日・28日・5月5日・12日・19日・26日・6月2日・9日
9:30-11:30
・協力：(株)グルッペ
★「介護予防・きくちゃんの脳トレ体操」
脳トレや体操で、認知症、フレイルを予防しよう！
・4月19日10:00～12:00・参

加費：100円
・持ち物：タオル・筆記用具
★お宝いっぱい！「まあぶるミニバザー」
地域の皆様よりご提供いただいた洋服・食器類・雑貨・書籍等をお手頃価格で販売します。
・4月21日・5月19日13:30～15:30
・問合せ：(社福)すぎのこまあぶる 042-473-5896
★第16回ひばりが丘音楽会「ミュージック畑」
・4月26日開場13:30開演14:00
＊絵画展示 絵画教室ひばりエコー
・入場料：500円(全席自由席)
・チケット販売場所 南部地域センター・市民プラザ
★「なんぶおしゃべりサロン」
ざっくばらんおしゃべりで心のこりをほぐしましょう！
・5月3日・6月7日(日)13:30～15:30
★なんぶ朝市
・5月3日(日)9:30～(パン販売は10:00～)
・新鮮な地場野菜・お団子、プチフルの焼き立てパン、おにぎりとお稲荷さんのセット
★「ひばりんフェスタ」ゴールデンウィークの最終日、家族みんなで楽しめる1日を！
・5月6日10:00～16:00

・ワークショップ・リラクゼーションなど
★「パクさんとうたおう！」
・5月31日開場13:15開演13:30～15:30
・参加費500円
【自由学園】
■U12こども広場
日時：6月6日(土)詳細未定
自由学園のキャンパスを使って、ご家族でのんびりお過ごしください。ワークショップやパン販売なども企画中です！詳細決まりましたら、幼稚園・初等部HPでお知らせします。
■自由学園幼児生活団幼稚園園庭開放-幼稚園オープンDAY!-
日時：5月28日10:00～1:00
幼児生活団幼稚園入園希望の方へ園庭開放を行います。
・入園説明会
日時：5月24日10:00～11:30(予定)
■自由学園初等部
・児童とつくる学校説明会
日時：5月16日詳細未定
会場：自由学園初等部
対象：自由学園初等部の教育に興味・関心のある方
毎年多くの方にご来場いただいている「児童が主体の学校説明会」です。
・運動会

日時：5月30日(土)詳細未定
会場：自由学園初等部
対象：自由学園初等部の教育に興味・関心のある方
元気いっぱいの児童たちが輝く姿をぜひ見に来てください。
■自由学園中等部・高等部デイキャンプ
日時：5月6日詳細未定
会場：自由学園キャンパス
新緑の映える時期に、3万坪にも及ぶ広いキャンパスに足を運び、デイキャンプしてみませんか。春の大人気イベントをGWにも開催します。
※上記催しについて、詳細は自由学園のホームページに掲載しております。
※お問合せ先：自由学園広報室
TEL：042-428-2123
e-mail：kh@jiyu.ac.jp
URL：https://www.jiyu.ac.jp

